



イメチェン！ここまでできた水稻の 低コスト直播

〔目的〕水稻作では担い手不足や作付けの集中化が進み、また低米価の状況が続いています。そこで冷凍食品材料などで需要のある「大地の星」を用い、安定確収と資材費削減により低米価に対応した直播栽培を検討しました。

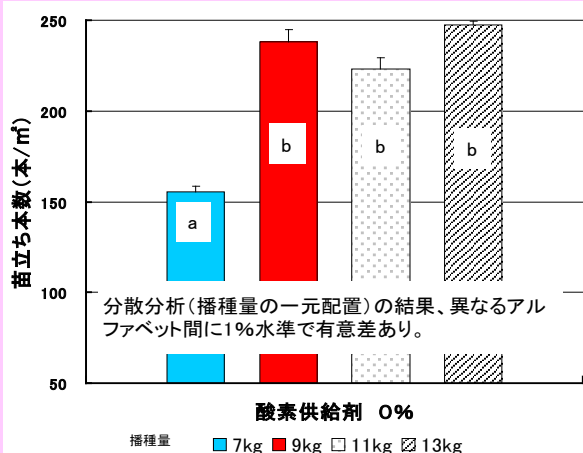
その結果

- ①コスト削減対策（下のⅠ、Ⅱ）
- ②「大地の星」で収量600kg/10a以上の安定生産のための目標値（省略）
- ③これらに基づくA経営の経済性を評価し、一俵一万円の低米価でも収益のある直播栽培の条件(Ⅲ)、を示しました。

	収量 (kg/10a)	生産費 (円/60kg)
直播 (大地の星)	566	9,243
移植 (きらら他)	589	9,866
<参考> 直播 (あきほ)	396	14,033

Ⅰ 播種量増で酸素供給剤の費用を低減

※4,000円弱/10aの酸素供給剤費用を、播種量増(800円増)で0円にします。



Ⅱ 雑草の発生程度別に除草剤を選択し、コスト低減

※中空知の高度クリーン米生産に使用されている雑草の発生予測技術を活用して、雑草が少なければ3,000円弱、多ければ6,000円以内で除草剤を選択します。

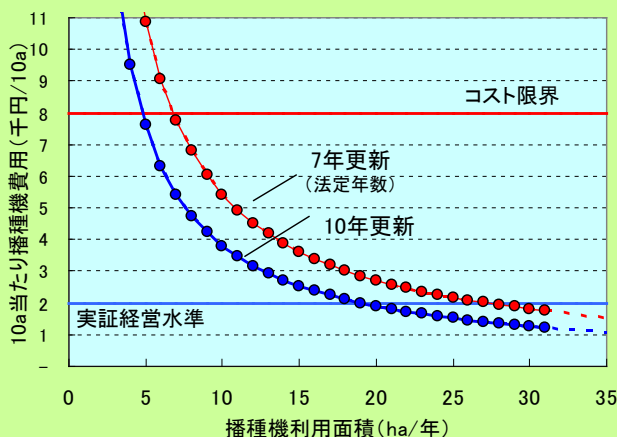


写真は発生予測を開始して1ヶ月後の雑草発生状況(5月下旬)

左の発生無しのほ場では、本田でも雑草発生は極めて少ない状況でした。

Ⅲ 播種機の費用を共同利用で圧縮

※1台の播種機(400万円弱)を10人で共有し、1人が2haの直播を行うことで、機械の費用負担を2,000円/10aに抑えることができます。



北海道立中央農業試験場 技術体系化チーム
 住所 長沼町東6線北15号
 電話番号 0123-89-2001
 e-mail: seika@agri.pref.hokkaido.jp